

道路整備財源の確保について

【内閣官房・財務省・国土交通省】

提案・要望の内容

- 1 地方が必要とする道路整備が今後も着実に進められるよう、道路整備財源総額を十分確保すること。
- 2 地域間格差をこれ以上拡大させないため、道路整備の遅れている地方部に対して、特に国直轄事業の高速道路整備費を重点配分すること。
- 3 地域活力基盤創造交付金は、道路整備が遅れている地方に配慮するとともに、今後も維持し、更に拡充すること。
- 4 山陰道や尾道松江線など島根県が必要としている道路整備を、「道路の地方版の計画」に確実に盛り込むこと。

【現状と課題】

しまねの幹線道路網 (H21.4.1現在)



①内空断面が狭く背高コンテナが通れないトンネル(6箇所)
(国道9号)



②増水時には通行不能になる幹線
(国道488号)

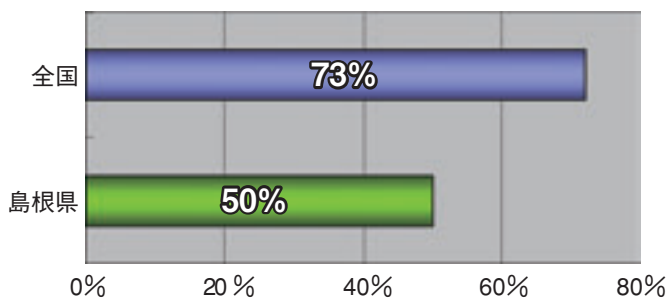


③歩道のない通学路
(一)八重垣神社竹矢線

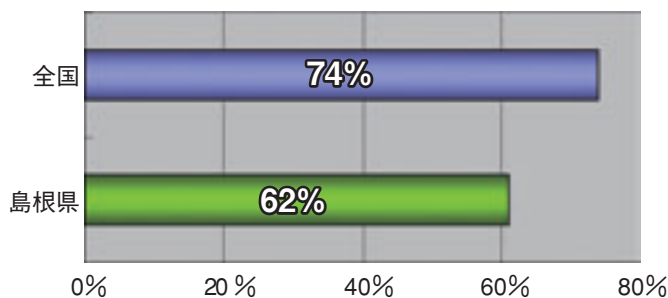


④落石が生じた山間道路
(主)浜田作木線

高速道路の整備率 (H21.4.1現在)



国県道の改良率 (H19.4.1現在)



- 地域の自立・活性化、安全・安心の確保のためには、高速道路等の整備が必要不可欠
・真に整備を急ぐものだけで約1兆円

地域の自立・活性化			約8,800億円
・産業及び経済の発展・広域連携の強化	高速道路の整備	約 130 km	3,700
・生活圏中心都市への1時間アクセスの確保	アクセス道路の整備	約 290 km	2,770
・市町村合併の支援(59市町村→21市町村)	市町村間アクセスの整備	約 75 km	(重複) 550
・日常生活に必要な移動の確保	著しい隘路等の解消	約 320 km	1,140
・良好な都市空間の形成と都市内交通の円滑化	無電柱化	約 18 km	90
	都市計画道路の整備	約 12 km	660
	バイパス等による渋滞解消	約 12 km	400
安全・安心の確保			約1,600億円
・緊急輸送道路等の防災対策	橋梁の耐震補強	約 90 橋	60
	防災・防雪施設	約 1,700 箇所	590
・安全快適な歩行空間の構築	通学路等の歩道整備	約 440 km	640
・原子力発電所避難経路の確保	避難道路の整備	約 15 km	300

【本県の取組状況・方針】

- 県財政の厳しい中においても、高速道路をはじめ、幹線道路網の構築や身近な生活道路、都市内道路を優先施策として促進
- 県HP「島根の主張」に、「道路特定財源問題」を掲載 (H17.9.6～)
副題「遅れている島根の道路整備は、これからが本番です」
- 中国知事会で「高速道路ネットワークの整備推進と道路財源の確保」について共同アピール (H20.5.28)(H20.11.17)(H21.5.27)
- 国に「必要な道路整備が行われるよう道路整備財源を十分確保すること」等を重点要望 (H20.6.5～6)
- 全国知事会で「道路財源の「一般財源化」に関する提言」(H20.7.18)
- 山陰自動車道建設促進期成同盟会(島根、山口、鳥取三県)により、「山陰道の早期全線供用」を国等に要望 (H20.8.5)(H20.11.14)
- 島根県地方六団体で「高速道路をはじめとする必要な道路整備財源の確保」等について決議 (H20.11.25)

【提案要望の効果】

- 高速道路をはじめ、遅れた地方の道路整備の着実な推進
- 地方における道路整備財源の充実